

私が感動した日本の文化

動画リンク: <https://youtu.be/9km50ggcn1A>

今回は「私が感動した日本の文化」を学びながら、日本語を勉強しましょう。この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。後半は少しだけ速く（+20%）なり、漢字に「ふりがな」はありません。学習にお役立ててください。

■日本に来た私と日本文化に興味を持った理由

私の名前はカインです。出身はベトナムで、年齢は22歳です。私は大学で勉強するために、日本へ留学しました。子どものころから外国に興味があり、その中でも日本は特別な国でした。日本語を学び始めた理由は、日本のアニメとマンガです。テレビや本を通して、日本の物語や考え方にふれるうちに、日本語を理解したいと思うようになりました。言葉がわかれば、日本人の気持ちも分かると考えたからです。実際に日本に来てから、日本の文化は本や映像で見ていたものと少し違うと感じました。毎日の生活の中に、静かさや気遣いがあり、それがとても新鮮でした。人の行動や考え方の中に、日本らしさが自然に入っていることに気づきました。この体験が、日本の文化をもっと知りたいと思う一番のきっかけになりました。

■日本に来てすぐ気づいた町と人の雰囲気

日本に来て最初に感じたことは、町の静かさです。駅や道に人が多くても、大きな音があまり聞こえませんでした。電車の中では、ほとんどの人が小さな声で話したり、静かにスマートフォンを見たりしています。その空気に、最初は少し緊張しました。

人の動きも、とても落ち着いていると感じました。急いでいる人がいても、周りの人とぶつからないように歩いています。駅の階段や通路では、自然に流れができていて、みんな同じ方向に進んでいました。誰かが強く注意しなくても、全体がうまく動いていることにおどろきました。公共の場所では、周りを気にする人が多いです。電話をするときは小さな声になります。電車の中で食べ物を食べない人も多いです。自分の行動が、他の人にどう見えるかを考えているように感じました。私の国では、町はもっとにぎやかです。声も音も大きく、人の動きも速いです。そのため、日本の町の雰囲気はとても新しく感じました。静かで落ち着いた空気の中で、人と人がぶつからずに生活していることが、日本らしいと強く思いました。

■ 毎日の生活の中で感じた周りを見る行動

日本で生活を始めてから、毎日の中で何度も感じたことがあります。それは、周りをよく見て行動する人が多いという点です。特に電車やバスでは、その考え方がはっきりわかります。車内では立つ場所を考えたり、出入りしやすいように少し体を動かしたりします。誰かのじゃまにならないように、自然に気をつかっていると感じました。駅では、並ぶ行動が当たり前のようにあります。電車を待つときも、店で買い物をするときも、人は決められた場所に静かに並びます。先に行こうとする人はほとんどいません。自分の順番を待つことが、周りの人への思いやりにつながっているように見えました。日本では、大きな声を出さない人が多いです。友だちと話すときも、声の大きさを調整しています。電話では特に気をつけていて、短く話したり、場所を移動したりします。その理由は、周りの人の時間や気持ちを大切にしているからだと思いました。人と人の間の距離も、日本では少し広いと感じます。近づきすぎず、離れすぎず、安心できる間を保っています。この距離があることで、生活がとても楽になります。毎日の小さな行動から、周りを見ることが日本の文化の一つだと学びました。

■ 食事を通して分かった日本人の考え方

日本で食事をすると、味だけでなく考え方も一緒に学べると感じました。和食は、強い味が少ないです。塩や油をたくさん使わず、食材そのものの味を大切にしています。最初は少し物足りないと感じましたが、食べ続けるうちに、体にやさしいとわかってきました。

食事の見た目も、とても大切にされています。色の組み合わせや皿の形に気を配っています。料理が出てくると、まず目で楽しめます。きれいに並べられた料理を見ると、作った人の気持ちが伝わってくるようでした。食事は、ただおなかなを満たす時間ではないと感じました。

日本では、食べ物で季節を感じる事がよくあります。春には、桜をイメージした色や形のお菓子が出来ます。夏は、そうめんやかき氷などの冷たい料理がふえます。秋は、くりやさつまいもを使った料理やお菓子が人気になります。冬は、なべ料理やおでんなど、体があたたまる食べ物が中心になります。季節の変化を、毎日の食事の中で自然に知ることができました。

食べるときの動作やマナーも、日本では大切にされています。食器を手を持って、食べ物を落とさないように気をつけます。周りの人と同じ速さで食べることも多いです。これらの行動から、食事の時間をみんなで大切にすることが伝わってきました。食事を通して、日本人は周りとの調和を重んじていると感じました。

■ 茶道や寺で体験した特別な時間

日本で茶道を体験したとき、時間の流れがとてもゆっくりだと感じました。お茶を入れる動きは急ぎません。一つ一つの動作に意味があり、静かに進みます。最初は、なぜこんなに時間をかけるのか分かりませんでした。だんだん心が落ち着いていくのを感じました。

寺を訪れたときも、同じような気持ちになりました。大きな音はなく、風や足音だけが聞こえます。人は自然と声を小さくします。その空間にただで、考えすぎたことが少し軽くなりました。静かな場所で過ごす時間は、心を休ませる時間だと知りました。

茶道や寺では、自分の気持ちに目を向けることが大切にされています。今、何をしているのか。どう感じているのか。そうしたことを、ゆっくり考える時間があります。忙しい毎日の中では、あまりない体験でした。

この考え方は、日常生活にもつながっています。急がず、落ち着いて行動すると、失敗が減ります。人の話も、よく聞けるようになります。茶道や寺での体験を通して、日本の文化には、心を整える時間を大切にする考え方があると学びました。

■祭りや行事で見えた人と人のつながり

日本の祭りに参加したとき、人と人のつながりを強く感じました。町の中に音や色があふれ、多くの人が集まります。知らない人どうしても、同じ場所で同じ時間を過ごします。その空気が、とてもあたたかく感じられました。日本の祭りには、毎年同じ形があります。準備を始める時期ややり方が決まっていて、地域の人々が力を合わせます。お正月や夏祭りなどの年中行事も同じです。毎年くり返すことで、人々の記憶や気持ちがつながり、伝統が守られているのだと感じました。また、大人と子どもと一緒に参加することも印象的でした。子どもは大人のすることを覚えて、大人は子どもをそばで見守ります。年齢はちがっても、同じ行事のメンバーとして活動します。その姿を見て、行事を通して、世代をこえて人びとがつながっていくのだと感じました。地域の人どうしが助け合う場面も多く見ました。準備や片づけを分け合います。困っている人がいれば声をかけます。祭りや行事は、楽しむだけでなく、人と人を近づける時間だと分かりました。日本の文化には、つながりを大切にする考え方があると学びました。

■着物や道具から感じた日本の美しさ

日本で着物や古い道具を見たとき、その繊細な美しさに強く心を動かされました。着物は色や形がとても落ち着いています。派手さはありませんが、やさしく深い色が多く使われています。その色には季節や場面、着る人の気持ちがかめられていると知りました。見れば見るほど、静かな美しさを感じます。日本の古い道具にも、同じ考え方があります。新しい物が良いとされるのではありません。長い間使われてきた道具も、丁寧に手入れされ、大切に残されています。少し傷があっても、そのまま使われていることに意味があると感じました。

着物や道具は、使う人の生活に自然になじみ、静かに役割を果たしています。その姿から、日本の文化には、時間や心を大切に作る美しさがあると学びました。この考え方は、毎日の生活を落ち着かせることにもつながっていると感じました。

■ 日本文化を知って変わった自分の行動

日本での生活を続ける中で、自分の行動が少しずつ変わってきたと感じます。まず、相手のことを先に考えるようになりました。話す前に、今この話をしてよいかを考えます。行動する前に、周りに人がいないかを見ます。この小さな意識が、毎日の生活を楽にしてくれました。また、急がず落ち着いて行動する習慣が身につきました。以前は、早く終わらせることを大切にしていました。日本では、ゆっくりでも正しく進めることが大切だと学びました。その結果、失敗が減り、気持ちも安定しました。学校での勉強や作業でも、この考え方は役立ちました。人の話を最後まで聞くようになりました。分からない点は、すぐに聞くのではなく、一度考えるようになりました。人との関係も、前より楽になりました。無理に自分を出さなくても、信頼は作れると分かりました。日本文化を知ったことで、行動だけでなく、考え方そのものが変わったと思います。

■ 昔から今まで続いている日本の文化

日本で生活して感じたことは、昔の文化が今の生活の中にも自然に残っているという点です。寺や神社は観光の場所であるだけでなく、今も人の心のよりどころになっています。季節の行事や食べ物も、今の生活の中で当たり前のように続いています。一方で、日本には新しい文化も多くあります。アニメやマンガは、若い人だけでなく、大人にも親しまれています。駅や町の中で、その絵や音楽を目にすることがあります。古い文化と新しい文化が、同じ場所にあることをとても不思議に感じました。若い人と大人が、同じ文化を一緒に楽しんでいる点も印象的でした。祭りでは、子どもから年配の人まで参加します。アニメやイベントでは、年齢のちがう人が同じ話題で話しています。年齢に関係なく、共有できる文化があると感じました。

日本の文化は、外国にも広がっています。私の国でも、日本の食べ物やアニメが人気です。実際に日本で生活してみて、その理由が分かりました。昔から大切にされてきた伝統と、今の時代の新しい流行がうまく調和しています。古いものと新しいものがぶつかるのではなく、どちらも自然に生活の中になじんでいるのを実際に見て、その魅力を強く感じました。

■ 日本文化から学び、これから生かしたいこと

日本での生活を通して、日本に来て良かったと強く感じています。最初は分からないことや不安も多くありましたが、日本の文化にふれる中で、少しずつ安心して生活できるようになりました。人の行動や考え方に理由があると分かると、毎日が楽になりました。

また、日本で学んだ考え方の中には、ベトナムにも通じるものがあると気づきました。特に、家族を大切にする気持ちや、相手を思いやる姿勢は、どちらの国にも共通しています。似ている部分があるからこそ、日本の文化にも自然になじむことができたのだと思います。

これからも大切にしたいと感じた考え方があります。それは、周りの人を思いやる行動です。自分の気持ちだけでなく、相手の立場を考慮することで、無理のない関係を作れると学びました。この考え方は、日本だけでなく、どの国でも役立つと思います。

日本で学んだ行動は、自分の国でも生かしたいです。静かに話すこと、順番を守ること、時間を大切にすることなど、すぐに始められることが多くあります。小さな行動でも、人との関係を良くする力があると感じました。

日本での経験は、私の未来につながっています。言葉だけでなく、考え方や行動も学べたことが大きな収穫です。これから先、どこで生活しても、日本で身につけた考え方を生かして、これからの人生を歩いていきたいです。

「私が感動した日本の文化」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI